

しんまちこども園

R5.4.6

自己評価の視点	気づいたこと課題
I 教育保育理念・教育保育内容	<p>園の理念、保育目標への理解を深めると同時に、認定こども園教育・保育要領も理解し、保育計画に落とし込んでいけるようにしていきたい。</p> <p>一人一人、個性や家庭環境が違うことを把握し、それぞれに寄り添った関わりを心がけた。</p> <p>こどもも大人と同様に一人の人間である。こどもにも権利がある。こどもの権利を尊重した教育・保育ができるように心がけていきたい。</p>
II こどもの発達援助	<p>言葉かけで、こどもの意欲に大きく違いが見られ【言葉の重み】を考えた。</p> <p>こどもの発見や発言に耳を傾け、共感したり一人一人の行動を大切にしたい。</p> <p>幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿をより深めて理解していきたい。</p> <p>こどもたちが保育者のまねをする姿が見られた。こどもたちの見本となるように意識した行動が必要と改めて感じた。</p> <p>こどもたちが興味や関心のある活動に、じっくり取り組める環境づくりをもっと取り入れていきたい。</p>
III 保護者に対する支援	<p>子育て支援に関しては知らなかったことが多くあった。</p> <p>自身の受け持ちのこどもに関係する支援機関しか知らなかったことに気づいた。</p> <p>保護者の悩みや相談ごとに寄り添い、一緒に考えて行くように心がけた。</p> <p>アプリの導入により、【ドキュメンテーション】を用いて、こどもの園での様子を伝えるようにしたが、直接、口頭でのやり取りも大切にしていきたい。</p>
IV 保育を支える組織的基盤	<p>一人一人がこども、保護者に丁寧な思いをもって接することを園全体で取り組むことで、よりこどもたちはのびのびと育つ環境となると思う。</p> <p>保育者間で伝達が上手くいっていない場面が見られた。定期的な共有の場を設けるようにしたい。</p> <p>園としての職員研修の場がもっと必要と感じた。</p>